学校番号	307

令和２年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）						
副教材等	保健ノート（大修館書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・自分たちを取り巻く環境から健康を捉え、自分自身の人生を豊かにできる力を身につける。
・健康的な生活行動について学ぶ。
・日常生活で直面する健康課題を知り、その解決方法を考える。
・健康や安全についての社会的な取組や個人での対応について知る。
・身近な健康問題に興味をもってもらう。

２　学習の到達目標

・健康的な生活行動とはどのようなことかを理解できるようになる。
・身近な健康問題に興味をもち、その解決方法について考えることができるようになる。
・健康や安全に対する社会的な取組みを知り、個人的な対応と関連づけて実践できるようになる。
・心と体を一体としてとらえ、健康・安全について総合的に考え、自己の将来について考えられるようになる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:知識・理解
観点の趣旨	健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心を持ち、個人生活及び社会生活における健康・安全課題について、意欲的に学習に取り組もうとする。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康･安全課題についての解決をめざして､知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題の解決に役立ち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。
評価方法	ワークシート ノート その他成果物	定期テスト ワークシート ノート その他成果物	定期テスト ワークシート ノート その他成果物

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1学期	生涯を通じる健康	・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 1.心身は年齢とともに変化し、思春期の健康について理解を深める。 2.責任ある性意識・行動の選択を学ぶ。	○	○	○	a:思春期の心と体の変化について意識し、責任ある行動や異性に対して思いやりのある態度を養い、良好な人間関係を保とうとする意識、姿勢があるか。 b:性差による意識・行動の違いについて理解し、自身の考えや社会の課題を見つけて整理し、説明することができる。 c:ライフステージに応じた健康について考え、基礎的な事項を基に、自己の健康管理と生活の質を高められる健康観を持つことができるか。	ワークシート ノート 定期考査 課題学習の成果物等
		・結婚生活と健康 ・妊娠・出産と健康 ・家族計画と人工妊娠中絶 1.結婚に際して健康面から考慮すべきことを学ぶ。 2.新しい生命の誕生の過程を健康面から理解する。	○	○	○	a:健康的な結婚生活をおくれるよう、身体的、精神的、社会的な発達や役割を理解し、パートナーに対して尊重できる気持ちを養う。 b:人生の各段階の健康の変化を理解し、課題を考えることができる。 c: ライフステージに応じた健康について考え基礎的な事項を基に、自己の健康管理と生活の質を高められる健康観や課題を考えることができるか。	ワークシート ノート 定期考査 課題学習の成果物等
		・加齢と健康 ・高齢者のための社会的取り組み 1.加齢にともなって起こる心身の変化を理解する。 2.若い頃からの生活習慣の重要性を知る。 3.全ての人が健康・安全に暮らせる社会の取り組みについて学ぶ。	○	○	○	a:老化による心身の変化や健康問題を理解し、健やかな中高年を過ごすための工夫や考えを持つことができる。 b:加齢にともなう心身の変化について理解を深めることができ、高齢者の健康づくりについて考える。 c: ライフステージに応じた健康について考え、基礎的な事項を理解し、自己の健康管理と生活の質を高められる健康観や社会の課題を若い世代から考えることができるか。	ワークシート ノート 定期考査 課題学習の成果物等

2 学 期	生涯を通じる健康	・保健制度とその活用 ・医療制度とその活用 ・医薬品と健康 ・さまざまな保健活動や対策 1.病気の予防や健康の保持増進のための制度について知る。 2.医療制度について学びその活用を知る。 3.世界における保健活動や対策について学ぶ。	○	○	○	a:健康な生活を送る上で必要な医療制度や保健活動について理解や関心がある。 b:健康を保持増進するために必要な制度や活動を理解し、課題を見つけたり、説明したりすることができる。 c:健康の保持増進に理解し、国の内外における保健活動や医療制度について記述、説明することができる。自身だけでなく、世界の人々の健康について考えることができる。	ワークシート ノート 定期考査 課題学習の成果物等
	社会生活と健康	・大気汚染と健康 ・水質汚濁、土壌汚染と健康 ・健康被害の防止と環境対策 ・環境衛生活動のしくみと働き 1.環境汚染の原因と健康に及ぼす影響 2.環境汚染防止と対策	○	○	○	a:環境汚染の原因や健康被害を防ぐための対策を理解し、自分自身の行動の中に具体的に意識して取り組もうとしているか。 b:環境汚染が健康に及ぼす影響について学んだことを自身の生活と比較・分析することができる。 c:環境汚染の基礎的な事項を理解し、社会全体の健康づくりの対策について理解し、説明・記述することができる。	ワークシート ノート 定期考査 課題学習の成果物等
		・食品衛生活動のしくみと働き ・食品と環境の保健と私たち 1.食品の安全性の確保について学ぶ。 2.環境への負荷を考え、健康被害の危険性を減らす。	○	○	○	a:日常における「食の安全」に関心をもち、健康被害についていかに取り組もうとする。 b: 食の安全をめぐる課題を理解し、自身の生活を分析し、改善していくか。 c:食品の安全性を理解し、社会的な取り組みや必要性を説明することができる。	ワークシート ノート 定期考査 課題学習の成果物等

3学期	社会生活と健康	・働くことと健康 ・労働災害と健康 ・健康的な職業生活 1.働くことの意義を理解する。 2.働き方の変化と健康問題を理解する。 3.労働と健康管理のしくみを理解する。	○	○	○	a:働くことの意義を理解するとともに、それにともなう健康被害や健康管理について意識をもって学ぶ。 b:労働災害を身近な問題と捉え、その対策について自身の考えや課題解決策を導き出すことができる。 c:労働災害の健康被害を理解し、個人だけでなくはなく、社会全体の対策も考え、具体例を挙げるなどの説明及び記述ができる。	ワークシート ノート 課題学習の成果物等 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
　　c:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。